

第 1 号議案

令和 4 年度事業報告及び財務諸表の承認について

I. 令和 4 年度事業報告

本会は、昭和 52 年に発足以来、県下 J A 関係職員の退職金原資を預かり「安全・確実」な運用に努めてきた。税務上、掛金が損金になるというメリットも理解され、現在、県下 J A 関係職員の退職金の概ね 4 割強を賄うようになった。

令和 4 年度の資金量は平残で約 287 億円であり、運用利回りは前年度を 0.016 ポイント上回る 0.626%、運用益は 180 百万円であった。これに対して、退職給付金の還元利率は前年度と同率の 0.500%、還元利息は 134 百万円を付加した。

共済会への掛金が全額法人税の損金になること、共済会の運用益が非課税であるため比較的高い還元利率を付加することができること等の共済会の利点を強調し、さらに掛金の増口に努めていく必要がある。

令和 4 年度の具体的実施事業は、以下のとおりである。

1. 会員・加入者の状況

加入団体は、J A9、連合会 4、専門農協・子会社等 13 の合計 26 団体だった。（3 年度末に静岡ジェイエイフーズ株式会社が脱退した。）

令和 4 年 10 月現在の加入者等の状況は、次のとおりである。

・加入者数	6,412 人	（前年度	6,683 人	△271 人）
・加入総口数	152,985 口	（前年度	158,441 口	△5,456 口）
・1 人当り平均口数	23.9 口	（前年度	23.7 口	+0.2 口）

2. 掛金の受入れ

令和 4 年度の受入掛金は 1,754,465 千円となり、前年度に比べ 83,701 千円減少した。この要因は、退職者数が 180 人減少、加入者数が 271 人減少、総口数が減少したことによる。

掛金の受入れ状況と前年度との増減対比は、次表のとおりである。

会員区分	加入者数 (人)	総口数	1人当り 平均口数	掛金額 (千円)	前年度との増減		
					加入者数	総口数	掛金額 (千円)
J A	5,498	135,110	24.6	1,549,796	△119	△2,675	△65,104
連合会	535	10,332	19.3	122,043	△5	△61	△1,319
専門農協・ 子会社等	379	7,543	19.9	82,626	△147	△2,720	△17,278
計	6,412	152,985	23.9	1,754,465	△271	△5,456	△83,701

※加入者数、総口数は令和4年10月現在のものである。

※掛金額は、令和4年度1年間のものであり掛金戻し控除前のものである。

3. 退職給付金の支給

退職給付金は、退職者361人に対して1,683,117千円を支給した。前年度と比べ、退職者数は180人減少し、支給退職給付金は1,072,770千円減少した。(前年比61.1%) また、1人当りの平均支給額は、前年度の5,094千円から432千円減少し、4,662千円となった。(前年比91.5%)

退職給付金の支給状況および前年度との増減対比は、次表のとおりである。

会員区分	定年		早期		中途		退職者 合計	退職給付金額 (千円)	前年度との増減	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子			退職者	退職給付金 (千円)
J A	68	6	17	3	107	94	295	1,411,636	△182	△1,027,673
連合会	21	3	0	0	5	3	32	167,003	0	△22,883
専門農協・ 子会社等	13	2	0	0	16	3	34	104,478	+2	△22,213
合 計	102	11	17	3	128	100	361	1,683,117	△180	△1,072,770

4. 諸会議の開催

(1) 評議員会

① 定時評議員会

6月10日(金) 午前11時30分より 於:県農業会館5階第11会議室

第1号議案 令和3年度事業報告及び財務諸表の承認について

第2号議案 任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任について

第3号議案 評議員会会長の選定について

3議案とも原案どおり承認された。

② 臨時評議員会

3月13日(月) 13時45分より 於:県農業会館5階講堂

第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算書の承認について
原案どおり承認された。

(2) 理事会

① 第1回理事会

6月1日(水) 午前10時より 於:県農業会館5階第13会議室

第1号議案 令和3年度事業報告及び財務諸表の承認について

第2号議案 評議員会の開催について

2議案とも原案どおり承認された。

② 第2回理事会

6月10日(金) 16時より 於:県農業会館5階第13会議室

第1号議案 理事長及び常務理事の選定について

原案どおり承認された。

③ 第3回理事会

3月1日(水) 午前10時より 於:県農業会館5階第14会議室

第1号議案 令和5年度共済会の還元利率について

第2号議案 臨時評議員会の招集および付議議案について

2議案とも原案どおり承認された。

5. 監査の実施

(1) 会計監査人による監査

5月20日(金) 令和3年度事業報告及び財務諸表について、杉山明喜雄公認会計士の書面による会計監査を受けた。監査の結果、適正である旨の意見表明がされた。

(2) 監事による監査

監事監査が次のとおり実施された。その結果、指摘改善事項はなかった。

① 5月27日(金) 令和3年度下半期の事業並びに会計監査

② 11月10日(木) 令和4年度上半期の事業並びに会計監査

6. 資金運用と退職給付金の還元利率

資金運用は、県信連の定期性預金と全共連の退職年金共済の二本立てで行い、全体運用資金は約287億円(平残)であった。全体運用利回りは、0.626%となった(前年度比+0.015ポイント)。全体の運用益は180百万円となった(前年度比+1百万円)。

一方、退職給付金の還元利率は、前年度と同様0.500%で実施し、還元利息

として 134 百万円を付加した（前年度比△3 百万円）。

（1）県信連定期性預金と借入金

退職給付金の支払資金として月 2 回の支払日が満期日となるように 26 本の譲渡性預金(期間 1 年、1 億円以上)を作成運用し、年度末の残高は 17,618 百万円と、前年度より 304 百万円の減となった。利率は、定期書替後が上乗せ金利 0.25%を含めた 0.252%であり、預金利息は 45 百万円、預金利回りは 0.252%となった。

予想を超えた退職給付金の支払いに備え、信連と借入限度枠 2 億円の特別当座勘定貸越約定を継続して締結しているが、4 年度の借入れはない。

（2）全共連退職年金共済

退職年金共済運用は、令和 4 年 10 月で 10 年目となり、109 億円が積み立てられた。令和 4 年度の運用益は 153 百万円(割戻金 18 百万円を含む)であり、これから共済付加掛金(運用手数料相当)19 百万円を控除した実質運用益は 135 百万円、実質運用年利回りは 1.243%であった。

7. 掛金増口指導

地区の総務部課長会議に出向き、共済会の現況と活用の利点を説明し、増口の働きかけをした。特に掛金が全額法人税の損金になることから、法人税の節税対策として増口を指導した。

加入者全体の 1 人当たり平均口数は 23.9 口、9JA の 職員の平均口数は 24.6 口(年間掛金@281,9 千円)で前年度比△5.6 千円であり、加入最高限度口数(30 口)からみると、高い水準にある。

8. 不祥事防止対策事業への助成

退職給付金の不支給をもたらす不祥事を防止し、加入職員の身分安定をはかるため、次の助成を実施した。

- ・ 令和 4 年度農協中央会の不祥事防止対策・コンプライアンス経営確立指導事業への助成 1,000,000 円

9. 管理資料の提供

加入団体の事業計画、決算、仮決算に必要な資料および退職金管理資料を作成し配付した。

- ①退職給付金個人別一覧表
- ②退職者一覧表
- ③退職金支給額一覧表（モデル団体のみ）

また、加入団体が掛金を納付するための「掛金告知書個人別一覧表」を作成し配付した。

10. 事務指導の実施

(1) 事務処理の指導

加入・退職・休職休業等に係る事務処理、掛金収納、退職給付金の支給、各種資料の活用方法等について随時指導した。

(2) 共済会事務担当者研修会の開催

共済会事務担当者の研修会を、新任担当者を中心に次のとおり開催した。

- ・日 時 7月20日(水) 午後1時30分
- ・会 場 Web配信(中央会会議室MR)
- ・出席者 19人(15団体)
- ・研修の内容
 - ① 共済会事業の概要について
 - ② 共済会の事務手続きについて

11. インターネットによる情報公開

ホームページで情報公開している事業計画・収支予算書、事業報告・財務諸表等の事項の維持管理をした。

この「情報公開サイト」は、「静岡県のJAグループ」のトップページからリンクされている。

12. 関係団体との提携

例年開催されている全国および8府県の農協共済会により構成する全国農業協同組合役職員共済事業協議会主催の会議は、新型コロナの感染拡大により開催できず、全国協議会の令和3年度事業報告・収支決算、令和4年度事業計画・収支予算議案は書面議決で承認された。

Ⅱ. 令和4年度事業報告附属明細書

該当ありません。

Ⅲ. 令和4年度財務諸表

次ページから。

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	令和4年度決算	令和3年度決算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常損益の部			
(1) 経常収益			
・基本財産運用益			
基本財産受取利息	32,693	32,693	0
・特定資産運用益			
特定資産受取利息	43,446,378	45,873,295	△ 2,426,917
共済積立資産運用益	153,848,269	151,960,000	1,888,269
・受取共済掛金			
受取共済掛金	1,752,221,000	1,859,786,000	△ 107,565,000
・退職給付責任準備金戻入			
退職給付責任準備金戻入	199,087,920	758,850,825	△ 559,762,905
・雑収益			
受取利息	1,715,644	440,908	1,274,736
受取配当金	200	200	0
経常収益計	2,150,352,104	2,816,943,921	△ 666,591,817
(2) 経常費用			
・事業費			
退職給付金	1,683,097,159	2,755,887,226	△ 1,072,790,067
退職給付責任準備金繰入	402,612,437	0	402,612,437
退職共済付加掛金	19,081,967	18,956,602	125,365
業務委託費	8,692,950	8,692,950	0
電算処理料	825,000	825,000	0
賃借料	178,090	171,798	6,292
支払助成金	1,000,000	1,000,000	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	111,100	114,819	△ 3,719
会議費	5,184	4,400	784
消耗備品費	1,378	19,360	△ 17,982
支払手数料	16,610	16,060	550
短期借入金利息	0	0	0
雑費	1,153	0	1,153
・管理費			
業務委託費	1,534,050	1,534,050	0
賃借料	178,090	171,797	6,293
旅費交通費	0	8,360	△ 8,360
通信運搬費	111,091	114,815	△ 3,724
会議費	4,400	2,640	1,760
消耗備品費	345	0	345
研修費	0	0	0
支払負担金	0	0	0
諸謝金	616,000	616,000	0
印刷製本費	120,450	123,200	△ 2,750
租税公課	71,000	71,600	△ 600
雑費	51,920	51,920	0
経常費用計	2,118,310,374	2,788,382,597	△ 670,072,223
当期経常増減額	32,041,730	28,561,324	3,480,406

科目	令和4年度決算	令和3年度決算	増減
(1) 経常外収益			
退職給付責任準備金戻入	1,335,528	25,571,304	△ 24,235,776
(2) 経常外費用			0
当期経常外増減額	1,335,528	25,571,304	△ 24,235,776
			0
当期一般正味財産増減額	33,377,258	54,132,628	△ 20,755,370
一般正味財産期首残高	660,320,084	606,187,456	54,132,628
一般正味財産期末残高	693,697,342	660,320,084	33,377,258
			0
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産受取利息	32,693	32,693	0
一般正味財産への振替額	△ 32,693	△ 32,693	0
受入加入金			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,973,648	12,973,648	0
指定正味財産期末残高	12,973,648	12,973,648	0
			0
III 正味財産期末残高	706,670,990	673,293,732	33,377,258

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	令和4年度決算	令和3年度決算	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 預金	668,821,866	636,477,555	32,344,311
(2) 未収収益	22,768,267	21,717,298	1,050,969
(3) 前払費用	2,125,209	2,115,231	9,978
流動資産合計	693,715,342	660,310,084	33,405,258
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
① 定期預金	12,973,648	12,973,648	0
(2) 特定資産			
① 退職給付引当資産	16,937,017,990	17,272,197,762	△ 335,179,772
② 退職共済積立資産	10,977,178,283	10,842,421,959	134,756,324
(3) その他固定資産			
① 外部出資	10,000	10,000	0
固定資産合計	27,927,179,921	28,127,603,369	△ 200,423,448
資産合計	28,620,895,263	28,787,913,453	△ 167,018,190
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払金	28,000	0	28,000
(2) 仮受金	0		
(3) 短期借入金	0		
流動負債合計	28,000	0	28,000
2. 固定負債			
(1) 退職給付責任準備金	27,914,196,273	28,114,619,721	△ 200,423,448
固定負債合計	27,914,196,273	28,114,619,721	△ 200,423,448
負債合計	27,914,224,273	28,114,619,721	△ 200,395,448
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(1) 加入金	12,973,648	12,973,648	0
指定正味財産合計	12,973,648	12,973,648	0
(うち基本財産への充当額)	(12,973,648)	(12,973,648)	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	693,697,342	660,320,084	33,377,258
正味財産合計	706,670,990	673,293,732	33,377,258
負債及び正味財産合計	28,620,895,263	28,787,913,453	△ 167,018,190

計算書類に対する注記

1.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法について

外部出資は移動平均法による原価法によっている。

(2)引当金・準備金の計上基準について

- ①「退職給付責任準備金」は、被共済者に対する退職給付金の支払いに備えるため、「一般財団法人静岡県農協共済会運営細則」に基づく、期末退職給付金要支給額を全額計上している。

(3)消費税等の会計処理について

税込み方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額およびその残高 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	12,973,648	0	0	12,973,648
特定資産				
退職給付引当資産	17,272,197,762	1,213,357,137	1,548,536,909	16,937,017,990
退職共済積立資産	10,842,421,959	673,609,463	538,853,139	10,977,178,283
計	28,114,619,721	1,886,966,600	2,087,390,048	27,914,196,273

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	12,973,648	(12,973,648)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	16,937,017,990	(0)	(0)	(16,937,017,990)
退職共済積立資産	10,977,178,283	(0)	(0)	(10,977,178,283)
計	27,914,196,273	(0)	(0)	(27,914,196,273)

4.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 (単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	32,693
合計	32,693

計算書類の附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細

計算書類に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2.引当金・準備金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付責任準備金	28,114,619,721	1,886,966,600	2,087,390,048	0	27,914,196,273